

被保険者証の様式の検討について

背景

- ・平成30年度までに、すべての市町村国保において被保険者証がカード化
- ・今後、カード型被保険者証を利用する団塊世代が後期高齢者医療に加入

⇒ 喫緊の課題ではないものの、被保険者証のカード化の検討が必要と認識

■市町村アンケートの結果（平成30年10月実施）

回答数75（60市町村+政令市各区）

○被保険者証のカード化に対する市町村の意見

賛成	2	
反対	43	<ul style="list-style-type: none"> ・紛失しやすくなる。 ・文字が小さくなり、読みづらくなる。 ・限度額認定証なども一緒にカード化しないと意味がない。
どちらでもいい	30	<ul style="list-style-type: none"> ・どちらにも一長一短がある。 ・カード化による弊害が解決されれば賛成である。 ・マイナンバーカードに被保険者機能がつくのであれば必要ない。 ・現行のままでも問題がない。

○被保険者証の様式に係る被保険者から市町村への要望

たまにある	21	（カード化の要望が多い） <ul style="list-style-type: none"> ・現在の被保険者証は、財布、カードケースに入らない。 ・後期に加入する前の保険証は、カード型だった。
ほとんどない	54	

<参考> 被保険者証の様式（厚生労働省令で規定）

被保険者証	カード型（原則）	大きさ	縦54ミリ×横86ミリ
	受給者証型	大きさ	縦128ミリ×横91ミリ
※広域連合の判断で様式を選択			
限度額認定証	受給者証型	大きさ	縦128ミリ×横91ミリ

カード化に当たっての課題

- ・紛失、文字の大きさ、限度額認定証のサイズとの関係（市町村の反対理由）
- ・発行経費（台紙の素材、専用プリンター等）
- ・被保険者証の即時発行